

高血圧患者とのコミュニケーション術～治療アドヒアランスの向上に向けて～

勝谷 友宏
医療法人社団 勝谷医院

吉田 哲郎
遠賀中間医師会 おんが病院 循環器内科

岸 拓弥
国際医療福祉大学大学院医学研究科 循環器内科学

効果的な高血圧診療の実践において、「患者の治療アドヒアランス」は重要な要素の一つである。患者の治療アドヒアランス向上には、医師が患者をよく知り、患者にやるべきことを正しく伝え、その実践に納得してもらうことが重要であり、そのためには医療提供者と患者間の良好なコミュニケーションが不可欠である。ただし、患者一人ひとりには個性があり、生活環境も様々であるため、全ての患者に同一のコミュニケーションをとることは難しい。したがって、日々の診療現場では、様々な工夫が凝らされている。

今回のセッションでは、3名の先生方に、治療アドヒアランス向上のカギでもある患者とのコミュニケーションの秘訣について語っていただき、その後ディスカッションの先生も交えてよりよい患者とのコミュニケーションのとり方についての意見を交わして頂く。